

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		11 04 03	中期総合計画主要施策番号		5-08	担当課	部・課	建設部 道路建設課	
事業名		北陸新幹線対策費					内線	3415	
							E-mail	michiken@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	北陸新幹線建設により分断される地域・集落のコミュニケーション確保や交通量増加により必要となる市町村道等整備に補助することで、北陸新幹線の建設促進を図る。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] 北陸新幹線建設により分断される地域・集落は、その地域のコミュニケーション確保のための施設や道路を求めている。							
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] 北陸新幹線建設による地域への影響は大きく、早期に整備が必要であり、関係市町村の支援が必要である。							
		[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] 北陸新幹線建設により分断される地域・集落のコミュニケーション施設や連絡道路等の整備を支援することにより、北陸新幹線の建設を円滑に促進する必要がある。							
	事業内容	新幹線建設により分断される地域のコミュニケーション等の場としての運動公園、集会施設の整備に対して補助する。事業費の1/3・1/2以内(700万円限度) 新幹線建設により分断されたり、交通量の増加により必要となる市町村道等の整備に対して補助する。事業費の4/10以内(500万円限度) 新幹線建設に関連して市町村が行う桜づつみ整備事業に対して補助する。事業費の2/3以内							
実施期間	H3 ~		根拠法令等	新幹線関連運動公園等整備事業補助金交付要綱・新幹線建設に関連する市町村道等改良事業補助金交付要綱・新幹線関連桜づつみ整備事業補助金交付要綱					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	北陸新幹線建設により分断される地域・集落のコミュニケーション施設等の整備を補助し、北陸新幹線の建設を円滑に促進する。		北陸新幹線の設計協議時の要望事項について、着実な進捗を目指す。			県内全線において、設計協議が行われ、地元との合意形成が図られた。また、長野県内全ての主要土木工事が発注され、着実に進められている。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	10,000	10,414	13,386	国庫・県単	県単	
	決 算 額 (B)		千円	5,000	6,916		実施方法	補助	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	5,000	6,916	9,400	歳出節別	補助金 6,739 (単位: 千円)	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.12	0.12	0.12	内訳等		
	概算人件費 (C)		千円	857	858	858			
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	5,857	7,774	14,244				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	補助事業箇所		箇所	1	2	2	・長野県内の用地取得状況 H19年度末 99%(面積ベース)		
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判 定 の 説 明	・新幹線整備を促進することは地域経済の活性化等果たす役割は重要であり、新幹線建設により影響を受ける地域・集落への支援は必要である。 ・対象箇所選定においては、対象となる箇所の事業費下限額引き上げを平成21年から行っている。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
課題の総括		新幹線建設は地域のみならず広域的な連携のため推進する必要があるが寄与度は高い。北陸新幹線長野・金沢間を早期に完成させるため、鉄道建設運輸機構等関係機関と連携を図りながら引き続き整備を推進する。							